

正規就労目指す若者支援 サポステ 個人に合う働き方提案

全国の15～34歳の人口に占めるフリーターの割合は6・8%（2013年）。総務省が18日、そんな数字を発表した。正社員に定着できずパートやアルバイトで働く若者の割合は年々上昇。今回の数字は調査を始めた02年以降で最も高い。徳島県内でも、アルバイトなどをしながら正規での就労を目指す若者は少なくない。就労を望む15～39歳の若者を支援する「とくしま地域若者サポートステーション」（通称・サポステ）を訪ね、実情や取り組みを聞いた。（大城咲）

サポステは徳島駅前にはほど近いビルの1階にある。厚生労働省の事業で、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会が県と共同で設置。一度は就労したものの人間関係などを理由に離職した人や、仕事に対して不安や悩みを持つ人らが訪れる。来所者の6割は就労の経験がある。

入社3年以内に38%離職

徳島労働局の調査によると、2012年度高卒者の就職率は98・1%と過去2番目に高い水準となった。しかし、10年度入社で1年以内に離職した人の割合は20・2%、2年目は11・4%、3年目は6・4%。合わせると38%となり、およそ3人に1人は3年以内に離職していることになる。

せっかく就職しても、辞めてしまうと再就職は難しい。ただ、サポステの永穂とも美所長は「将来的なことを考えると正社員という働き方がベターという捉え方が一般的だが、それをプレッシャーに感じている人もいる。一人一人に合った働き方があるし、すぐに何でもできるようにならなくても、教え方を工夫してもらったり練習を重ねたりすることで、できるようになることはたくさんある。本人が持っている可能性を最大限に発揮できるような職場環境づくりが大切」と訴える。

サポステではまず、就職・進路相談やカウンセリングを行い、個々に合った就労支援講座を提案。「ビジネスマナー講座」や「職業体験」といった講座が受けられる。

「職を選ばなければ、でも…」

徳島市に住む女性Aさん(24)は、そうした支援を受けた1人。スタッフと話し合っただけでパソコン講座を受講し、非正規雇用だがデータ入力の仕事に就くことができた。製造業のパートも始め、現在は二つの職場で働きながら、正社員を目指している。

高校時代、夢に向かって資格を取得するため進学を希望していたが、経済的な理由で進学することがかなわなかった。「他にしたいと思う仕事がない」と、卒業後は短期や長期のアルバイトに就いた。しかし、職場の人員増で長時間働くことが難しくなり、辞めて就職活動をすることにした。

ハローワークなどで正規の仕事を探し、いくつかの会社で面接を受けたが不採用。正規雇用の経験がないことが足を引っ張っていると思う。面接



来所者の就職相談に乗るとくしま地域若者サポートステーションのスタッフ⑤＝徳島市の同所



就職説明会などのパンフレットをチェックする求職者＝徳島市のとくしま地域若者サポートステーション

官から「職を選ばなければ正規雇用できたのでは」と見られているように感じる。「でも、職を選ばずに正規というだけで就職するのは気が進まない。できたとしても、長続きしないと思うから」とAさんは言う。

今のパートにはやりがいを感じている。「製造業の仕事を通して、体を動かして働くことが好きだと気付いた。でも膝を傷めていて、この職でフルタイムの正社員は厳しい。他の仕事を探すしかない」。二つの仕事を掛け持つため休日は月に2、3日しかなく、就職活動は厳しい。「来年は25歳。今は実家暮らしだが、できたら来年には家を出て自立したい」

ニート対応「家庭だけでは限界」

サポステの来所者には、Aさんのようなケースだけではなく、高校を中退し、就業せず職業訓練も受けていない、いわゆる「ニート」の状態の人もいる。中退して数年たち、見かねた保護者がサポステに連絡して一緒に来所するケースも多い。

中退して教育機関を離れると、見守りの目が家族だけとなってしまふ。「10代の若者は自立の準備段階にあるので親に反発することが多く、家庭だけでは限界がある。同じことを他の誰かが言ってあげると受け止め方が変わることもある」（永穂所長）。サポステは高校中退者のニート化を防ぐため、県内の高校に中退予定者に対してサポステを紹介してもらえようと呼び掛けている。

就職に悩み、自らの働き方を見詰める若者たちに、日々寄り添うサポステスタッフ。今の自分はまさにそんな状態という人に、次のようなメッセージを送っている。

一緒に考えよう。いくらでも道はある

若い人は「自分に何ができるのか分からない」と言う人が多い。いろんな人と出会ってやりとりをする中で自分というものが形づくられる。傷つけられることもある。でも、人の中に入っていけないと成長することはできない。育ててくれる人の懐に飛び込めば成長できる。自立したいという気持ちを持ち続けられれば、就職することはできる。自信がない、勇気がないという人は一緒に考えよう。自分らしく生きることを恐れる人がいるけれど、周りと一緒にじゃないからといって駄目なわけじゃない。違うところがそれぞれの強みであり、強みを生かせる場所はある。くじけても戻ってくる場所はあるし、いくらでも道はある。

とくしま地域若者サポートステーションの連絡先

▽徳島市寺島本町西1-7-1 日通朝日ビル1階。〈電088(602)0553〉。

また2012年5月、阿波市に「あわ地域若者サポートステーション」も設置された。▽阿波市吉野町西条字大内18-1 吉野中央公民館(旧笠井福祉センター)2階。〈電088(637)7553〉。